

経営比較分析表（令和6年度決算）

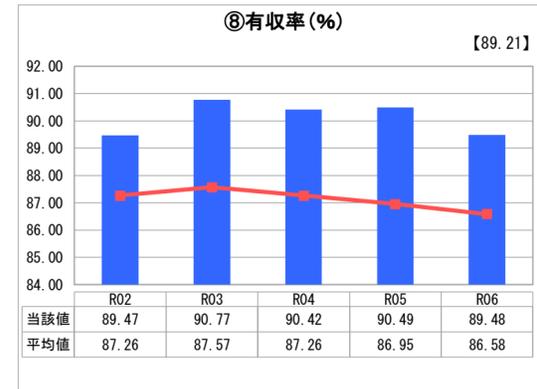
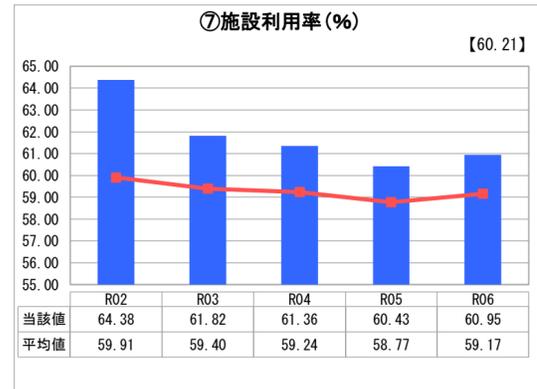
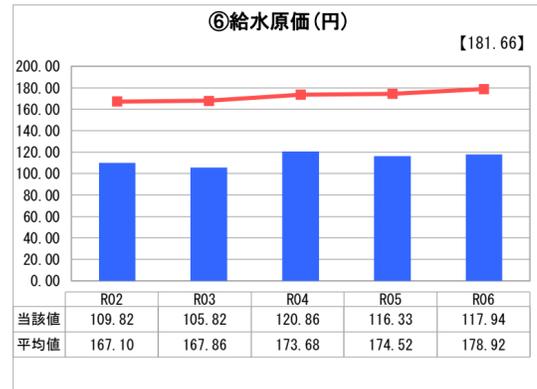
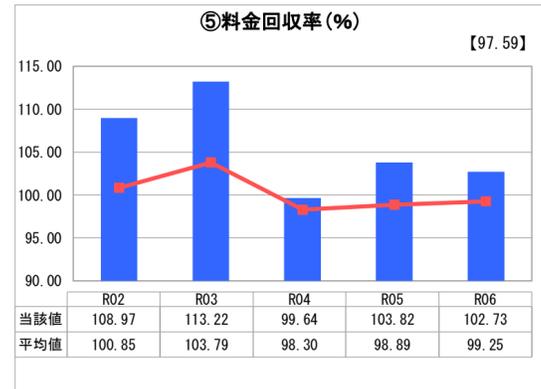
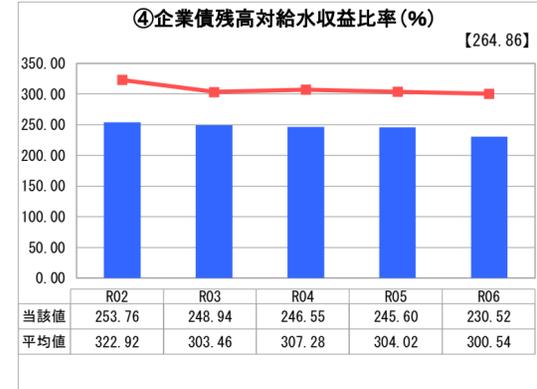
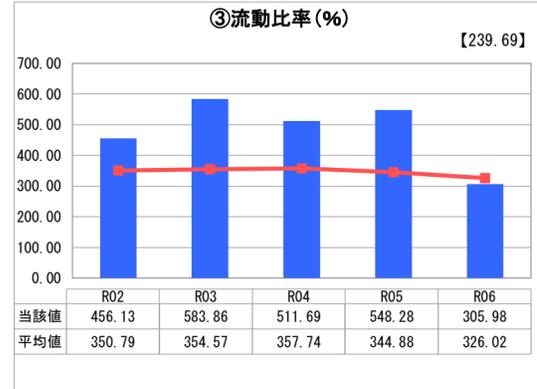
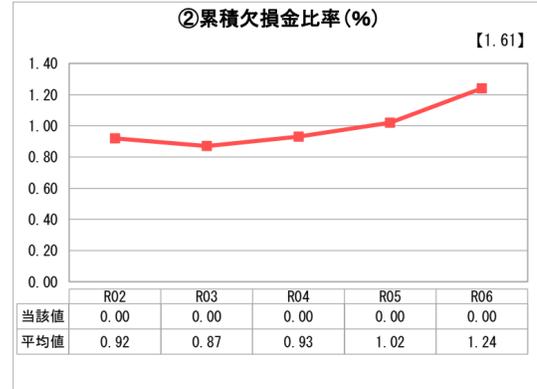
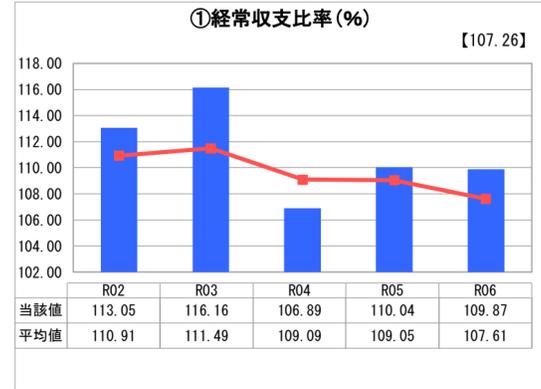
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.33	99.90	1,815	

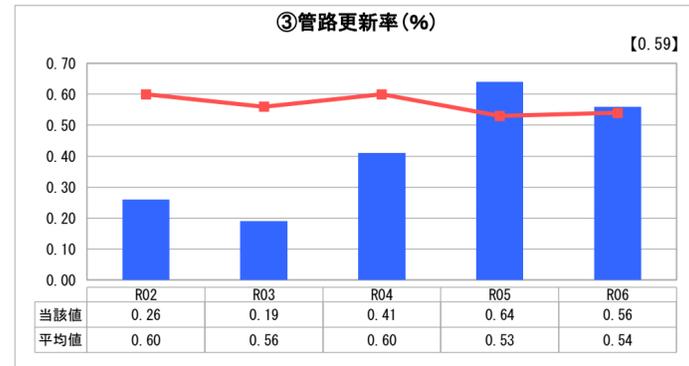
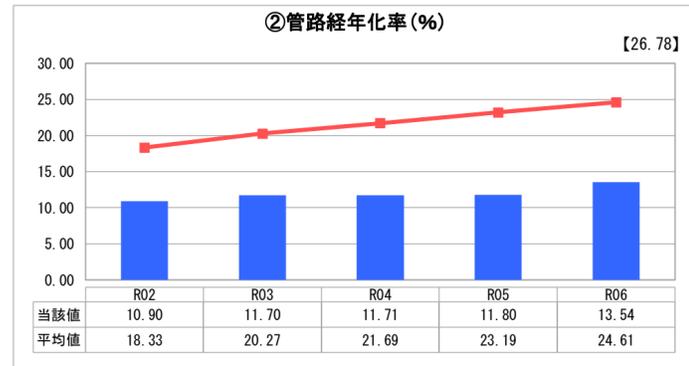
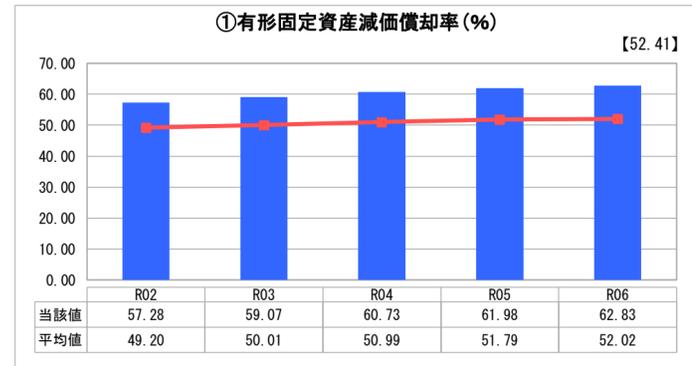
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,271	210.87	342.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
50,875	78.09	651.49

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①人口減少に伴う料金収入の減少や物価上昇等の影響による営業費用の増加により、経常収支比率は微減となりました。
 ③配水池改良工事に係る未払金の増加により、流動比率は低下しました。
 ④資金残高と企業債残高のバランスを考慮して、企業債の発行は必要最小限としています。
 ⑦将来の水需要の減少を踏まえ、既存施設の統廃合等適切な規模への転換を図り、施設利用率を高めていく必要があります。
 ⑧衛星画像のAI解析により管路の漏水調査を進め、有収率の向上を図ります。
 今後も人口減少による料金収入の減少や、水道施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれるため、経営の健全化に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

①設備類（電気、機械、計装）の減価償却が進んでいるため、適切な維持管理を行うとともに、設備類を更新していく必要があります。
 ②下水道整備事業に併せて管路を更新しているため、管路経年率は類似団体と比較して低くなっています。
 将来の水需要の減少を踏まえ、管路の口径縮小や水道施設の再配置などのダウンサイジングを行い、重要度・優先度に基づき、水道施設の更新を進めていきます。

全体総括

経営状況はおおむね健全に推移していますが、安全で良質な水道水の安定供給を継続していくため、水道施設の老朽化対策が課題となっています。
 今後の料金収入の減少や老朽化による更新需要の増加に対応するため、経費削減や経営合理化を図ったうえで適正な水準への料金改定を検討するとともに、更新事業等の財源確保を図り、安定供給と健全な事業運営を継続していきます。